



● 地域提案型

平成24年度 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 国名	タイ
2. 事業名	大腸がん早期発見・治療プロジェクト
3. 事業の背景と必要性	大腸がんは、2012年現在、タイ国のがん発生数の中で男性では第2位、女性では第3位となり、大腸がん対策は同国の保健政策の重要課題になりつつある。本プロジェクトは、東京医科歯科大学が2008年から構想し、タイ当局から実施許可を得て、2012年2月からチュラロンコーン大学病院でパイロットプロジェクトを開始した。その結果1,230人から5名の大腸がん患者が見つかり、早期発見に成功した。このパイロットプロジェクトを検証・拡大して、そのシステムを確立することは、大腸がんの早期発見・受診につながり、保健予算抑制の面からも、実施必要性の高いプロジェクトといえる。
4. プロジェクト目標	バンコク市のモデル地区において、大腸がん早期発見および治療のシステムを確立する。
5. 対象地域	バンコク市中心部のチュラロンコーン大学附属病院周辺をモデル地区とする。
6. 受益者層（人数規模）	一般市民・病院来訪者・チュラロンコーン大学関係者の合計5千人
7. 活動及び期待されるアウトプット	<p>&lt;アウトプット&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 大腸がん検診・治療の日本型システムが1つのモデルとしてタイの病院に導入される。</li> <li>2. そのために必要な機材・備品が整備される。</li> </ol> <p>&lt;活動&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1-1 日本人専門家をタイに派遣して行うタイ人医療従事者への技術指導。</li> <li>1-2 タイ人医療従事者を日本に招致して行う技術研修。</li> <li>2-1 タイにおける機材・備品の調達。</li> </ol>
8. 実施期間	2013年4月から2016年3月
9. 事業費概算額	30,000千円
10. 事業の実施体制	東京医科歯科大学が協力実施団体となり、チュラロンコーン大学医学部および附属病院において実地指導を行いながら、東京都文京区と連携しつつタイ人研修員の本邦研修を行う。
II. 応募団体の概要	
1. 団体名（提案自治体）	東京医科歯科大学（東京都文京区）
2. 対象国との関係、協力実績	1991年以来、20年以上にわたり、歯学系の交流・協力を多数実施し、86名が東京医科歯科大学で歯学博士号取得。医科系の協力は2010年の東京医科歯科大学による留学生受け入れに始まる。同年、チュラロンコーン大学—東京医科歯科大学研究教育協力センターをチュラロンコーン大学内に設置している。